

解答



問一 2 問二 ア 3 イ 2 問三 火星 問四 3
 問五 4 問六 3 問七 2 問八 1



問一 2
 問二 (1) 1
 (2) この国には、古くから守られてきている文化がある、ということ
 問三 3 問四 2・4 問五 3
 問六 スポーツに、死ぬほど頑張っ、その精神力のおかげでいい成績をあげる、という物語を求める〔文化〕
 問七 2 問八 4
 問九 江戸っ子は「粋」を重んじ野暮ったいことを嫌った。銭湯では、熱くても平気なふりをして入ったそうだ。つまり、やせ我慢を「美」と考えていたのだ。キレやすいと言われる時代、「粋」について考えるのもいいだろう。



① 洋行 ② 私欲 ③ 脳裏 ④ 奏〔し〕 ⑤ 冊子 ⑥ 類推 ⑦ 宙 ⑧ 濟〔ませ〕
 ⑨ 拳〔げた〕 ⑩ 織〔り〕

解説

〔一〕 出典は、森 絵都「彼らが失ったものと失わなかったもの」(『架空の珠を追う』所収)。

- 問一 どの選択肢も同じワインを指しているの、できごとの流れをとらえ、どの時点でのワインのことをいっているのか考えること。1・3・4は「私」が数分前にリカーショップで見たときのワインの説明で、その後イギリス人夫妻がそれを買ひ、落として割ってしまったのである。第二段落以降は、「私」がリカーショップでそのワインを買おうかどうか迷ったときのことを回想している場面で、時間的な流れとしては、夫妻がワインを落として割ってしまったことに「私」が気づいた第一段落はずっと後ろの「とっさに振りむくと……」の段落につながる。
- 問五 二人がしているのは、自分たちが割ってしまったために飛び散ったビンの破片とこぼれたワインを片づける作業であり、まさに「自分たちのことに責任をもって対処しようとする態度」である。
- 問六 選択肢の文末の気持ちを表す言葉はどれも「曇りが無い」という表現にあてはまるので、他の部分からまちがいを探し、消去法で選ぶ。1は「無言の抗議をしている」が、2は夫が「一人で後片付けをする」がまちがい。また、4のように「周囲の人々に模範的な行動を見せよう」と思っている行為でもない。
- 問八 「はにかんだように」(＝恥ずかしそうな表情やそぶりをするように)という少年の表情と、4の「安心した」という気持ちは矛盾する。夫妻を「野暮ったい田舎者」と思ったのは、「私」や周りにいた人々であって少年ではないので、2も不適切。また、3の『「私」の責めるような視線』ということも文章中には書かれていない。

〔二〕 出典は、清水 義範『行儀よくしろ』。

- 問二 「こういうシーン」の内容を説明しているのは、直後の「ホセインさんたちが……」から「……と答える。」まで。それを受けて、「私はその、少年を食事に誘うシーンだけで、強く感じるがあった。この国には、古くから守られてきている文化がある、ということだ」と述べていることや、「シーン」の説明の初めのほうで「少年の名をくん付けで呼ぶところに、イランの文化がある」と述べていることに着目して考える。
- 問三 「知らず知らずに守ってしまっている」「生活習慣の規範」が文化であり、2の「日常生活の表面を飾る」ものや、4の「道徳意識向上のために定めた」ものではない。また、それぞれの国や民族の文化のなかにあるものは結果として「美しい」と感じられるのであって、1のように「美しく見せるために考え出した」ものではない。
- 問六 「日本人がスポーツマンに何を求めるか、という文化の中から、あのフラフラ状態は出てくるのだろう」とあるのに着目し、日本人がスポーツ(マン)に求めているものはどういうこと(もの)か読み取る。
- 問七 「作為でも演技でもなく、気力を出しきった姿になって……立っていることもできない」のは、「無意識のうちに文化の美が原因している」とか、「気力で頑張り抜いて勝つ、ということを尊ぶ文化の中にいるから……ヨレヨレになるのだ」とか述べられていることから考える。
- 問八 後半部冒頭の「文化の話などを始めてしまったので、とまどっている読者が……教育と文化とでは、少し話の方向が違っているような気がするかも」という段落に注意すること。この文章の本来のテーマは「教育」について述べることだったので、筆者は「文化」の話から始めたというのである。そうしたの、もちろんこの二つに密接な

関係があるからで、1の「ほとんど関係がない」は明らかな誤り。文化とは、たとえば日本人の正座や韓国人の片膝を立ててあぐらをかいてすわるというような、「それぞれの国や民族にとっての生活習慣の規範」であるが、それらが守り伝えられているのは、子供のときからのしつけや教育によってである。